



フジサンケイ広報フォーラム 1 月・月例会は、フジテレビジョン執行役員広報局長の上野陽一氏を講師にお招きし、フジテレビジョンの組織体制と危機管理をテーマにお話しいただきました。当日は、1 月恒例の賀詞交歓会も行いました。

上野陽一 Yoichi Ueno

フジテレビジョン執行役員広報局長

1988 年フジテレビジョン入社。広報局、営業局、編成局などを経て
2017 年人事局長、2023 年より現職。

ドラマ制作に携わりたくて、フジテレビに入社した。テレビマンの登竜門として AD を経験し、制作現場で鍛えられた。その後、広報局で番組宣伝や人事局などスタッフ部門でのキャリアを積んだ。番組宣伝の仕事は芸能人と接する機会も多いので一見華やかに見えるが、新番組のマスコミへの売り込み、芸能事務所との調整など制作現場を裏で支える地味な作業の連続だった。

現在のフジテレビの組織は、会社直轄の秘書室など 4 つの室と報道局、編成制作局などの 19 の局で構成されている。広報局は、他の企業の広報と同様にあらゆる部門にアクセスし、社内の情報を集めるとともに、会社の方向性が世の中の潮流とずれていないかなど、常に目配りする役割も担っている。

広報局の体制は、番宣を担当する広報宣伝部、昨年新設の SNS 広報部、危機管理や会社全体の広報を担う企業広報部、予算管理などを行う広報業務部の 4 つの部で構成している。また、フジテレビというブランドを進化させるため若手中心のブランディング室も設置している。近年注力しているのが SNS による広報で、ただの番組宣伝に見えないような発信になるよう腐心している。

広報担当にとって、不祥事対応は避けて通れない業務だ。私自身、ライブドア事件、韓流ドラマ放送への批判、さらにはジャニーズ問題など様々直面してきた。これらの経験から情報収集やマスコミ対策などの重要性を学んだ。その中で危機管理の要諦とも言える「逃げない」「隠さない」「嘘をつかない」「丁寧な対応」「少しの心の余裕」という事を常に肝に銘じている。



当日は、上野広報局長を囲んで恒例の賀詞交歓会も開催しました。